



国土のモニタリングとマネジメント

～ 地理空間情報とユビキタス技術の活用～

東京大学空間情報科学研究センター寄附研究部門「空間情報社会研究イニシアティブ」発足式

株式会社パスコ
代表取締役社長 杉本 陽一

地理空間情報 と ユビキタス技術

ユビキタス技術への期待

これまでの情報化の流れ

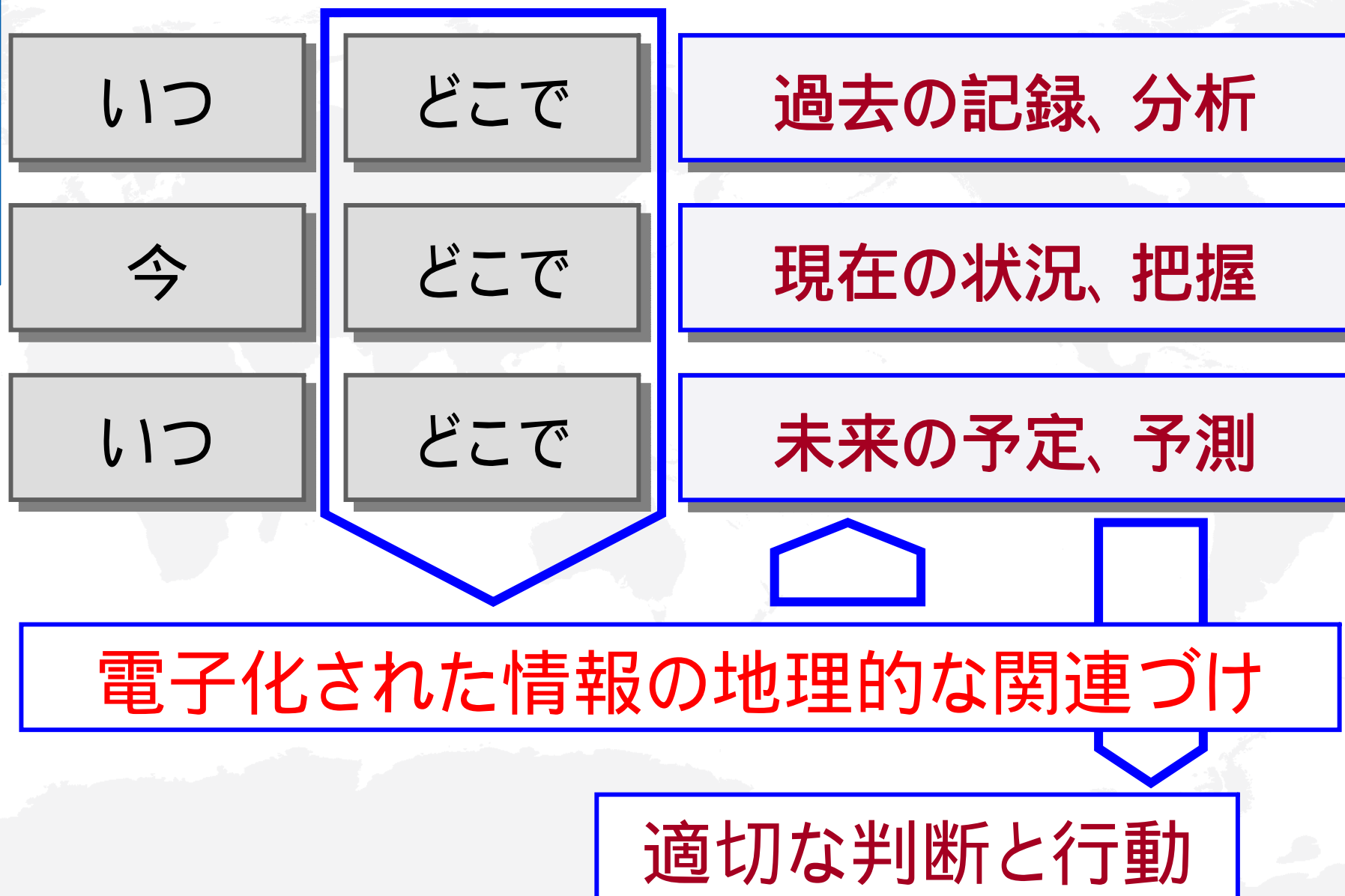
情報化の取り組み → 電子化的な意味合い

ユビキタスネットワーク技術の進展により

電子化された情報の現実世界における利用が促進される
現実世界と仮想世界の融合

情報化社会からユビキタス社会へ

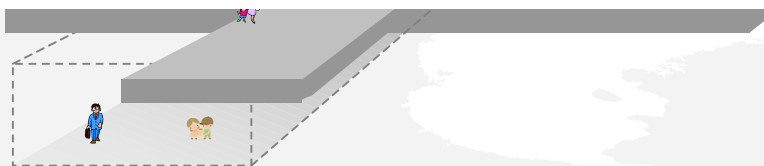
地理空間情報の重要性



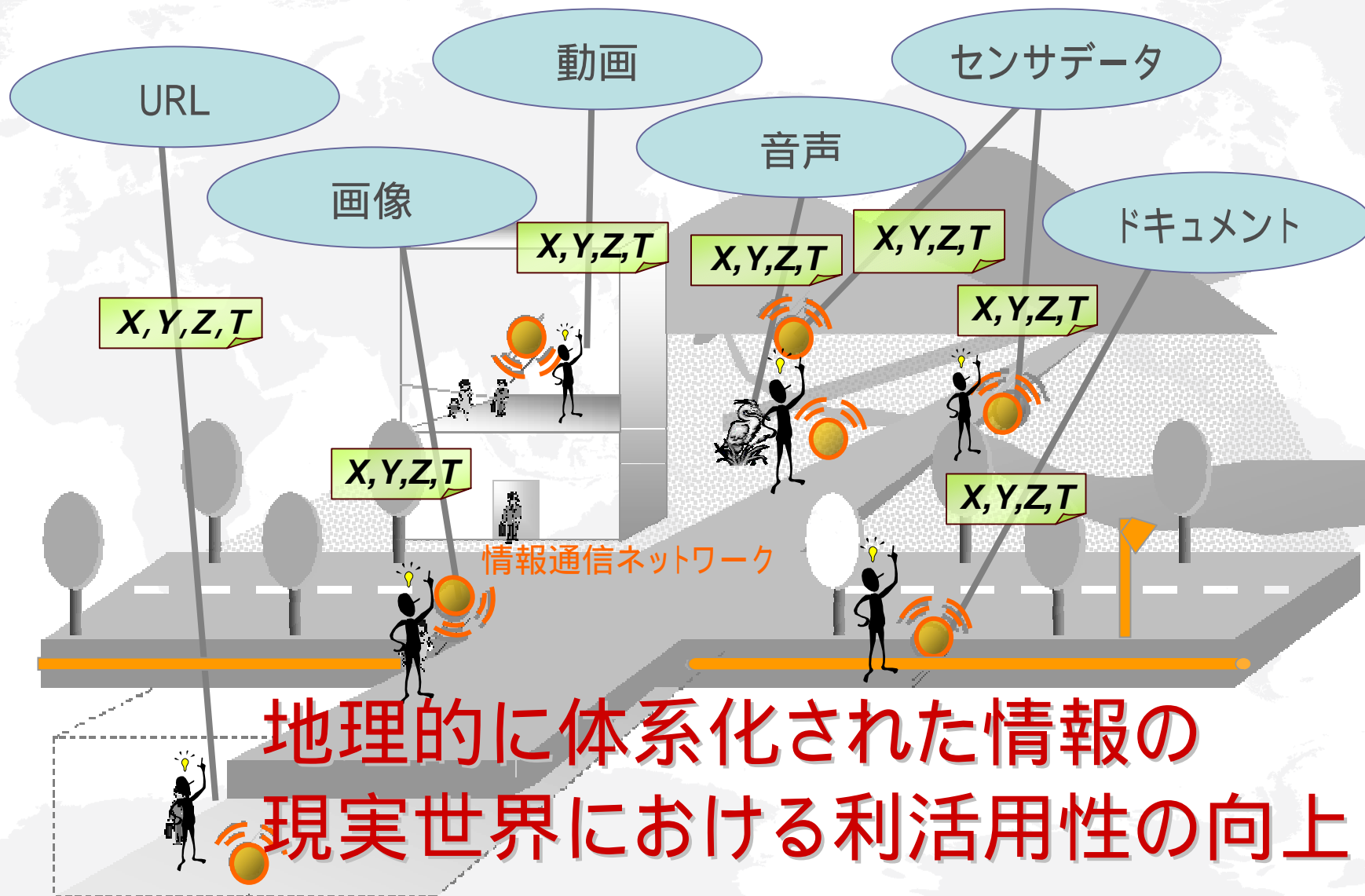
電子化された情報



**地理的な体系化を進めることが、
現実世界における活用性のキーとなる。**



ユビキタス技術と地理空間情報により



現実世界での活用を 前提とした場合

- 現実世界の位置基準となる**正確な地理空間情報の整備が重要**
- 地理空間情報の**継続的かつ適切な更新が重要**
- データの**相互利用の促進が重要**
- ユーザーへの**分かりやすい提供が必要**

地理空間情報と ユビキタス技術の融合による

国土の モニタリングとマネジメント

官産学の役割

官

(国土交通省など)

ICタグ、光ファイバ、センサネットワーク等の基盤となるハードの整備

基盤となる地理空間情報の整備

産

(民間企業)

ユビキタス情報社会基盤を利用した事業の創造

産学連携

(空間情報社会研究
イニシアティブ)

地理空間情報の整備、更新、運用時の基準や
ルール、技術的課題の解決 (政府に対する提言)

日本発、世界初の産業の創造

情報通信ネットワークインフラ

×

センサネットワーク

×

現実世界と仮想世界を結ぶインフラ
(ICタグ等)

×

地理空間情報

||

空間情報産業

Measure the Earth, Here and Beyond

